

「公衆衛生」第79巻総目次

2015年(第1号～第12号)

数字は通巻頁数, ()は号数

特 集

◆ 79巻1号「公衆衛生のリーダーシップ」

わが国における公衆衛生のアイデンティティ：曾根智史, 6(1)

公衆衛生の復権とその拠点としての保健所の復権：田上豊資, 10(1)

公衆衛生における保健師のアイデンティティ：平野かよ子, 14(1)

わが国の結核対策における保健所のアイデンティティおよびリーダーシップ：加藤誠也, 18(1)

中核市における保健所長のリーダーシップ：毛利好孝, 22(1)

中核市制度の誕生と意義：新藤宗幸, 26(1)

日本における健康の社会格差：本庄かおり, 30(1)

イングランドの公衆衛生のアイデンティティとリーダーシップ：高鳥毛敏雄, 36(1)

◆ 79巻2号「女性の健康を考える」

女性のライフステージと健康：平島奈津子, 78(2)

女性の健康をとりまく現状と課題：山縣然太郎, 83(2)

女性の職業キャリアの課題—働き方改革が重要に：武石恵美子, 89(2)

性差医療：小宮ひろみ, 93(2)

不妊治療と女性の健康を考える：齊藤英和・齊藤和毅, 99(2)

女性の健康—産業保健の立場から：野原理子, 105(2)

健康寿命の延伸と女性の健康：太田博明, 111(2)

女性の貧困と健康：本庄かおり, 116(2)

◆ 79巻3号「男性の健康を考える」

平均寿命における男女差の人口学的構造：綿引信義, 150(3)

男性高齢者の特徴と性差医療の注意点：太田壽城, 155(3)

一人暮らし中高年男性の増加とそれに伴うリスクの高まり：藤森克彦, 159(3)

男性更年期障害：辻村晃, 166(3)

前立腺の疾患：後藤百万, 170(3)

男性のSTI(sexually transmitted infections)：根岸昌功, 176(3)

中高年男性の自殺：高橋祥友, 181(3)

男性の食育の試み：田畑卿子, 185(3)

◆ 79巻4号「危険ドラッグ対策」

日本における薬物乱用問題の変遷とその背景—「危険ドラッグ」問題に焦点をあてて：和田清, 222(4)

精神科臨床からみた危険ドラッグ乱用の現状と課題：成瀬暢也, 228(4)

危険ドラッグ関連の救急搬送患者の特徴と課題：上條吉人, 233(4)

薬物乱用や依存の問題をもつ人の回復支援における看護職のあり方—拒否の連鎖から支援の連鎖へ：寶田穂, 237(4)

薬物依存の回復支援活動の最前線からみた危険ドラッグ：栗坪千明, 241(4)

世界各國の動向を踏まえた日本の危険ドラッグ対策：小森榮, 245(4)

危険ドラッグも視野に入れた薬物乱用防止教育のあり方：鬼頭英明, 250(4)

危険ドラッグの流通実態の把握と流通予測：花尻(木倉)瑠理, 255(4)

無煙タバコの健康影響—危険ドラッグの周辺で：埴岡隆, 259(4)

◆ 79巻5号「死因究明制度の現状と将来展望」

日本の死因究明制度の現状と将来展望：福永龍繁, 294(5)

日本の法医学教育および死因究明制度の歴史：岩瀬博太郎・石原憲治, 299(5)

日本の監察医制度の歩みと課題：松本博志, 305(5)

欧米の死因究明制度の歩みと現状—日本との比較：白鳥彩子・藤宮龍也, 311(5)

日本の死因究明制度の課題—法学者の立場から：福島至, 316(5)

わが国の死因究明に関わる医師等の教育体制の確立とその課題：松本博志, 321(5)

死亡時画像診断(Ai)技術の現状と課題：高橋直也・樋口健史, 326(5)

Public Health and Safety と死因究明制度—公衆衛生

の立場から：反町吉秀・瀧澤透，330(5)
医療現場における死因究明の現状と課題—医療事故調査制度：木村壮介，335(5)

◆ 79 巻 6 号「熱中症」

熱中症をめぐる最近の動向と歴史的変遷：中井誠一，366(6)
日本における熱中症の実態と将来予測：小野雅司，373(6)
救急医療から見た熱中症患者の特徴：三宅康史，378(6)
熱中症死亡者の特徴：鈴木秀人，384(6)
日常生活における熱中症予防：星秋夫・樫村修生，388(6)
地域における熱中症予防の取り組み—保健指導の効果的なアプローチ：村山貢司，393(6)
すまいと熱中症：伊香賀俊治，397(6)
スポーツと熱中症：川原貴，401(6)
産業保健と熱中症：澤田晋一，405(6)

◆ 79 巻 7 号「感染症の新たな脅威」

新興・再興感染症の現状と課題：渡邊治雄，438(7)
デング熱の国内感染—行政の対応，保健所の立場から：広松恭子，444(7)
蚊媒介性感染症：小林陸生，449(7)
西アフリカにおけるエボラ出血熱の流行：加藤康幸，454(7)
重症熱性血小板減少症候群—Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome; SFTS：下島昌幸，458(7)
中東呼吸器症候群—Middle East Respiratory Syndrome; MERS：松山州徳，463(7)
狂犬病：井上智，467(7)
感染症の脅威と対策—国際的・歴史的な視点から：大曲貴夫，473(7)

◆ 79 巻 8 号「公衆栄養への期待」

健康長寿を支えるための公衆栄養の科学と実践：佐々木敏，510(8)
国民健康・栄養調査の重要性と活用：古野純典・今井志乃・瀧本秀美，517(8)
健康長寿をめざした地域の食環境づくり：田中久子，521(8)
公衆栄養を基盤とした食育の推進—栄養表示・教育ツールとしての食事バランスガイド活用法：早渕仁美，527(8)
高齢者の栄養・食生活に関する課題と今後の対策：新開省二，533(8)
地域包括ケアの充実に向けた在宅栄養管理：江頭文

江，538(8)
スポーツ栄養学の進歩と今後の展望：高田和子・田口素子，542(8)
災害時の公衆栄養活動に関する課題と展望：小田雅嗣，547(8)

◆ 79 巻 9 号「医療情報の利活用」

医療情報を活用した地域医療連携システム構築の現状と課題：藤森研司，582(9)
がん登録の整備とがん診療情報の利活用：西本寛，587(9)
滋賀県における全県下脳卒中登録の構築と今後の課題：高嶋直敬・三浦克之・喜多義邦・野崎和彦，593(9)
レセプトデータを利活用したデータヘルス事業の現状と課題：岡本悦司，598(9)
母子保健・医療情報の利活用の現状と展望：山縣然太郎，604(9)
東京都における健康危機に備えた感染症関連情報の活用：渡瀬博俊，609(9)
日本における医療ビッグデータの利活用の現状と課題：山本隆一，614(9)
イギリスにおける医療情報の活用の課題と展望：堀真奈美，619(9)

◆ 79 巻 10 号「たばこ対策」

タバコ対策の歴史と最近の動向：矢野栄二，654(10)
成人喫煙率 12% 達成に向けて：中村正和，659(10)
たばこ増税と期待される効果：望月友美子，665(10)
タバコ規制と法制度：田中謙，670(10)
受動喫煙防止対策の現状と課題：大和浩，675(10)
受動喫煙防止条例の効果とその成立過程：関口正俊・原田久，681(10)
禁煙治療の現状と課題：飯田真美，687(10)
健診の場を活用した禁煙支援：増居志津子，692(10)
先進事例に学ぶ地域での喫煙対策—多治見市の推進体制と公共施設敷地内禁煙：道林千賀子・櫻井きよみ，697(10)

◆ 79 巻 11 号「食品の安全と安心をめぐる話題」

食品の安全と安心：唐木英明，734(11)
食品の安全性に関する海外の最近の話題—微生物学的食品安全の立場から：窪田邦宏・天沼宏・春日文子，738(11)
食品表示制度の概要と課題：澁谷いづみ，743(11)
Codex の概要：豊福肇，748(11)
食品トレーサビリティシステム：福田伊津子・大澤朗，753(11)
食品に関する苦情—異物混入を中心に：館山優乃，

758(11)

フードディフェンス：神奈川芳行・今村知明，
762(11)

新たな「機能性表示食品」制度：千葉剛，767(11)

ダイエット食品と健康：東泉裕子，772(11)

食品に含まれる有害物質—トランス脂肪酸と多環芳香
族炭化水素類：渡邊敬浩・堤智昭，777(11)

◆ 79 巻 12 号「進めよう！ COPD 対策」

COPD の概念の変遷と対策の変化：永井厚志，
822(12)

COPD の病因・発症機序等を踏まえた予防戦略：鈴
木雅・猪又崇志・西村正治，829(12)

“肺年齢”を用いた COPD の啓発：山口佳寿博，
835(12)

地域における COPD の早期発見方策：窪田幸司・寒
川卓哉・井上博雅，840(12)

COPD 患者の自然経過と治療効果：一ノ瀬正和，
845(12)

COPD 患者の身体活動性の向上と呼吸リハビリテー
ション：塩谷隆信，849(12)

在宅酸素療法を受けている慢性呼吸器病患者の災害脆
弱性に対応策：藤本圭作，855(12)

在宅酸素療法患者の危機管理と QOL 改善支援—在宅
医療機器業者の立場から：富森浩二，860(12)

視 点

地方衛生研究所の感染症危機管理機能の現状と強化に
向けて：調恒明，2(1)

「夢」を描く～喜びの源～：山崎理，74(2)

医学教育改革と公衆衛生：尾崎米厚，146(3)

超高齢社会の未来を創る：山中朋子，218(4)

公衆衛生のリーダーシップ：角野文彦，290(5)

公衆衛生におけるリーダーシップについて考える——
県型保健所の立場から：鈴木まき，362(6)

今こそ、ヘルスプロモーションの実践を：藤内修二，
434(7)

自殺対策における公衆衛生のリーダーシップ：本橋
豊，506(8)

アルコール対策におけるリーダーシップ——世界、日
本、そして地方における動向：神田秀幸，578(9)

災害時地域保健支援・受援体制構築を目指してリーダ
ーシップを育む：古屋好美，650(10)

地域包括ケアシステムと保健所：大木元繁，730(11)

Health in All Politics：佐藤眞一，818(12)

投稿

◆ 活動レポート

ラフターヨガによる仮設住宅居住者に対する心身のケ
ア：羽根田潔・恵美美紀・佐藤四郎・鈴木京子・西
塚朋子・福土京子，46(1)

◆ 地域事情

デンマーク国における風力発電事情：森松嘉孝・久保
達彦・藤野善久・原邦夫・石竹達也，189(3)

◆ 活動レポート

自宅近隣環境の再認知による歩行時間を増やす試み
——プラステンの実践支援：久保田晃生・岡本尚
己・印鑰真人，791(11)

連 載

◆ いま、世界では!? 公衆衛生の新しい流れ

地球規模課題への公衆衛生の挑戦：中谷比呂樹，
50(1)

国際的事例で考える女性の健康問題：吉田幸代・木庭
愛・中谷比呂樹，124(2)

薬物使用への国際的対策：アンドリュー・ボール ア
ネット・ヴェスター・瀬戸屋雄太郎・佐原康之，
266(4)

西アフリカにおけるエボラウイルス病(Ebola Virus
Disease)対策——Complementary Approach として
の地域ケアセンターの役割：奥村順子・進藤奈邦
子，481(7)

世界のタバコ対策の動向：佐原康之，702(10)

食品安全管理は国境を越えて：宮城島一明，786(11)

結核，COPD の世界の現状——求められる個別疾患
対策を超えたアプローチ：小野崎郁史，865(12)

◆ リレー連載・列島ランナー 70～81 回

災害時の活動を通じて思う公衆衛生看護の専門性：奥
田博子，55(1)

「保健師の力育成事業」で取り組む宮崎県の保健師現
任教育：小野美奈子，129(2)

大規模災害時の公衆衛生機能に歯科口腔保健も組み込
みたい—避難所等歯科アセスメントの標準化から：
北原稔，200(3)

働く世代を元気に——健康経営事業所拡大事業：内田
勝彦，277(4)

生涯にわたって食べる機能を支援するまちづくり——
保健所の公衆衛生と臨床の融合を目指して：矢澤正
人，353(5)

公衆衛生に携わっての雑感：中俣和幸，425(6)

HIV 感染症患者に対する地域歯科医療——自治体の

役割とは：秋野憲一，497(7)
あれから8年—中越沖地震での体験から：堀井淳一，551(8)
「たば風」の町から：原田智史，629(9)
健康寿命日本一を目指した奈良県の取り組み：田中孝子，716(10)
子ども虐待予防から産後うつ対策へ——福岡県妊娠からのケア・サポート事業：岩本治也，801(11)
適正なアルコール習慣について考える：渡會洋子，882(12)

◆ 衛生行政キーワード 99～104 回

女性の健康の包括的支援に向けて：野田博之，121(2)
厚生労働省における薬物依存症対策：松崎尊信・福生泰久・諸富伸夫，264(4)
熱中症対策：原田志織・江副聡，411(6)
エボラ出血熱疑似症患者に対する病院管理部門における対応：高岡志帆，478(7)
厚生労働省におけるたばこ対策：寺原朋裕，707(10)
食品の安全性確保に向けた厚生労働省の取組：中村梨絵子，783(11)

◆ 基礎から学ぶ楽しい保健統計 4～15 回：中村好一

質的データの記述的解析：59(1)
統計グラフの作成：132(2)
統計学的推論～推定と検定～：205(3)
平均の推定と検定：280(4)
割合の推定と検定：340(5)
相関と回帰：419(6)
標本サイズ：491(7)
重回帰分析：566(8)
オッズ比：632(9)
標準化：710(10)
その他の多変量解析：796(11)
一致性の観察：870(12)

◆【講座】子どもを取り巻く環境と健康 1～10 回

「奪われし未来」にしない：岸玲子，193(3)
水銀，農薬の曝露実態：仲井邦彦・龍田希，271(4)
POPs(ダイオキシン・PCB 類)の曝露実態：梶原淳睦，347(5)
有機フッ素系化学物質(PFCs)の曝露実態：原田浩二・小泉昭夫，413(6)
短半減期化学物質の曝露実態：荒木敦子・アイツバマイゆふ・岸玲子，485(7)
妊娠期化学物質曝露と母の栄養状態および次世代影響——特に母親の脂質への影響：那須民江，559(8)

喫煙，受動喫煙による児への影響——遺伝的ハイリスク群を含む：佐々木成子・小林澄貴・岸玲子，637(9)

胎児期の環境化学物質曝露が出生体重と生後発育へ与える影響：湊屋街子・岸玲子，719(10)

乳幼児のアレルギー・感染症へのダイオキシン類，有機フッ素系化学物質曝露による影響：宮下ちひろ・岸玲子，805(11)

乳幼児のアレルギーと胎児期・小児期の可塑剤・難燃剤曝露：荒木敦子・アイツバマイゆふ・岸玲子，876(12)

◆ 寄稿

高齢者就労に関する先行研究—その1—高齢者の就労が健康に与える影響：南 潮・藤原佳典，555(8)
高齢者就労に関する先行研究—その2—高齢者就労支援のあり方の検討：南 潮・藤原佳典，625(9)

コラム

◆ 予防と臨床のはざまで：福田洋

ICOH 産業保健サービス・調査・評価に関する科学分科会(前編)：69(1)
ICOH 産業保健サービス・調査・評価に関する科学分科会(後編)：139(2)
産業保健の授業と保健師の選択制：212(3)
研究・実践からアドボカシー(政策提言)へ：285(4)
発病，発症，それがどうした：346(5)
Don Nutbeam 教授の講演：428(6)
泉州糖尿病看護を考えるネットワーク：500(7)
第88回日本産業衛生学会と健康教育・ヘルスプロモーション研究会：572(8)
第31回国際産業衛生学会参加ダイジェスト(1)重要性増す職域ヘルスプロモーション：644(9)
第31回国際産業衛生学会参加ダイジェスト(2)職域健診のワークショップ：696(10)
第31回国際産業衛生学会参加ダイジェスト(3)高かった学会のホスピタリティ：811(11)
さんぽ会夏季セミナー「SPK48 劇場」：886(12)

◆ 映画の時間：桜山豊夫

マンゴーと赤い車椅子：67(1)
愛して飲んで歌って：141(2)
トレヴィイの泉で二度目の恋を：213(3)
小さき声のカノン：287(4)
パプーシャの黒い瞳：357(5)
蒼の乱：429(6)
沖縄うりずんの雨：501(7)
奇跡の2000マイル：573(8)

あの日のように抱きしめて：645(9)

ぼくらの家路：725(10)

光のノスタルジア／真珠のボタン：813(11)

パリ3区の遺産相続人：887(12)

◆ 公衆衛生「書評」

NPO 法人西東京臨床糖尿病研究会，植木彬夫 監修
高村宏，飯塚理恵，高井尚美，土屋倫子，中野貴世
編『糖尿病 作って食べて学べるレシピー療養指導
にすぐに使える糖尿病食レシピ集&資料集』：平尾
絃一，592(9)

NPO 法人日本医療ソーシャルワーク研究会 編 村上
須賀子，佐々木哲二郎，奥村晴彦 編集代表『医療
福祉総合ガイドブック 2015 年度版』：眞崎直子，

664(10)

東京大学公共政策大学院 医療政策教育・研究ユニッ
ト 編『医療政策集中講義 医療を動かす戦略と実
践』：坂本すが，795(11)

◆ 公衆衛生「書籍紹介」

田中謙 著『タバコ規制をめぐる法と政策』日本評論
社 2014 年，706(10)

河合蘭 著『出生前診断—出産ジャーナリストが見つ
めた現状と未来』朝日新書 2015 年，706(10)

やどかりの里 45 周年記念出版編集委員会 編『障害者
権利条約とやどかりの里』やどかり出版 2015 年，
747(11)